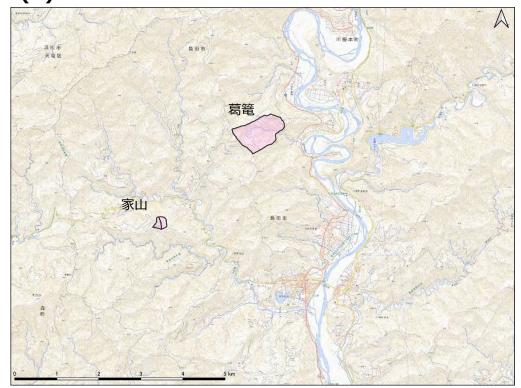
(1)-1 概要



施工地の位置図

家山は、平成10年度の森林水環境総合整備事業によって施工された浸透促進型施設。下流に簡易水道保全施設があるため、用水取水タイプの濁質発生域における浸透促進型施設に区分した。集水面積はNo.1(西側)が3.2ha、No.2(東側)が3.6haとなっている。

葛篭は平成17年度の水源流域地域保全事業によって施工された。下流に簡易水道施設があり、家山と同様、用水取水タイプの濁質発生域における浸透促進型として区分した。集水面積は66.78haである。

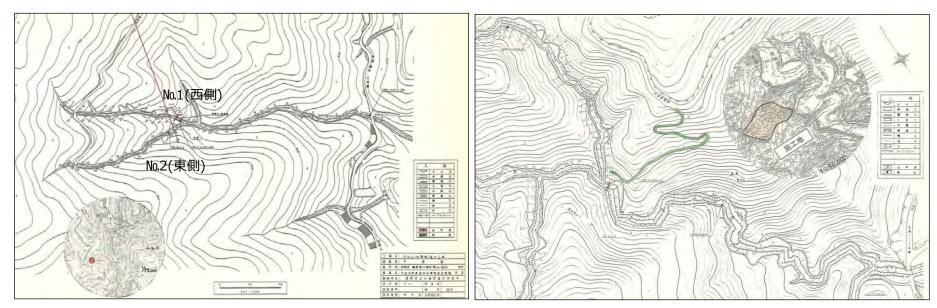


家山の鳥瞰イメージ



葛篭の鳥瞰イメージ

(1)-2 概要



平面図 左:家山 右:葛篭

(2) 施工当時の状況-家山





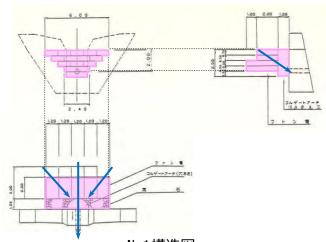
No.1治山ダム施工状況



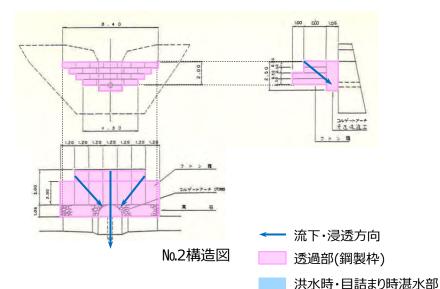


No.2治山ダム施工状況

フトンカゴとコルゲートパイプを活用した浸透促進型施設。

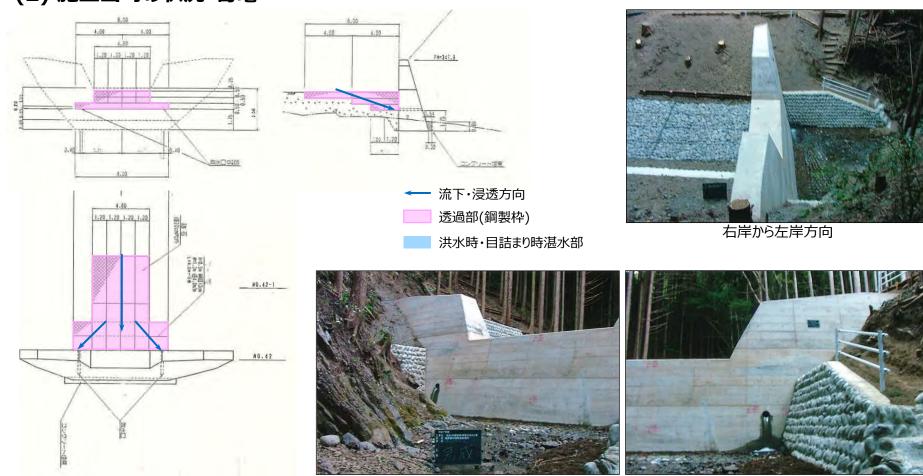


No.1構造図



(2) 施工当時の状況-葛篭

構造図



水抜きは放水路断面内に設置されることが多いが、本施設では放水路断面の渓岸側に配置している。水抜きの流下水によって渓岸の侵食を受けないよう側壁を設けている。これは、水抜きに取水栓を取り付けを考慮していると想定される。

治山ダム下流から上流